

大牟田の夏まつりにねり歩く大蛇の口にかませると、その子はしあわせになる、という。三川指導部の椎島敬三さん提供の写真で、ほほえましいシーン。

お便り

前略
 一昨日は大変お世話になりました。車中、みなさん「またきたらいいではないか」といわれました。今度くるまでには子供ともたいてい思いましよう。そして来年、この京成電鉄の社宅から、安心して三池へ行ってもらう入行したいと思います。

私たちが一人ひとりの手は小さいものですけれど、これが何千何万と集まれば、アリの象をたおすに、だを大切にしたいです。

手記

三川指導部 組合員

夏休みに入った最初の日曜日は会社も日曜だ。特定休日というので、日曜と連休となる。子供たちは夏休みの喜びをからだで受けとめようと、早くから楽しみに、家族団らんの日とときを長くして待ちかまえていた。

ところが、日曜に二日前の金曜日の夜のこと、わが家へ強盗ムカデが現われ、かまわい美女(?)

の足にいきなりぐらいついた。かかして、わが家の、楽しいは、の机や本などの搬出・搬入を手伝った。みんなで床一枚一枚を掃いて、そのあと市販の殺虫剤を床下から、畳から真つ白になりな

かき出して、太陽の光を思い切つて吸わせてやることにした。小学生の子供たちも、自分たちの机や本などの搬出・搬入を手伝った。みんなで床一枚一枚を掃いて、そのあと市販の殺虫剤を床下から、畳から真つ白になりな

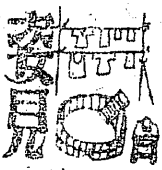
社宅も、一棟二階分に任せているので、一日は大掃除は終りなかつた。ついに、一日に二階帯分ずつ掃いて、とうとう二日かかっての大掃除となった。

こんなわけで、せつかくの連休が、からだのあちこちが痛み出すような労働で終り、連休二日目は明日の出勤がきつたらうか、心配されるほどの夜となった。

思えば、大雨のときはきまつて雨もりをする社宅だけれど、住む者にとっては大切な住まいで、いつもきれいな家にしていくて終るとまたエンヤコラ、ドッコインシヨと、家具を家の中へ運びぬ。ムカデ、ナメタツにへん、カ

この手記は、七月二十八日郵便で編集部へ寄せられたもので、「三川、組合員」という以外ほからない。とにかかありがたいことだ。

右の文章はとも素晴りてへ、三池の労働者の素裸の生活をよく語りあかしてくれています。こんな文章が、本紙にどんなふうなはいいですね。それにこのようにたぐまな文章は、だれにでも書けるはずだ。だから、あつてを続けてはくれませんか。



生涯を終えた母

本所指導部 平田 千佐子

六月九 除草してくれたので電話で日のごとき、家の仕事は満足にできないので、私の母は、老いた母の心づかいに頭が下がり、目がしらがあつくなつたものでした。

その日は天気がよく、日照りだったので水いっばいあげられ

その日は天気がよく、日照りだったので水いっばいあげられ

その母が私にくれた遺産といえは、無形なものです。でもそれは、私の、自分の子どもに対する考え方、見方をかえてくれた大切な遺産です。

大平首相も母と同じ病気で世を去りました。そこには権力者と平凡人の違いなどありませんが、それは別として、これまでほんとうにたまたま二児の母親になつたのだとの実感が湧いてきて、つくづく責任の重さを感じていひたいです。

この欄へ、主婦会員の皆さんのご投稿をお願いします。

— 編集部

とんでもない連休

吹き飛んだ一家団らんのひとつき

またまた、上を下への大騒動である。

タンス、机、本箱など、家族五人分の家財道具を外へ。あと畳を

から吹きかけ、畳はさらしたたい

てほりをばらう。

天井の雑巾がけを行い、掃除が

終るとまたエンヤコラ、ドッコインシヨと、家具を家の中へ運びぬ。

八月までできます。

今年伸びた、充実した、花芽のない新しい箱を、四枚葉くらいから切り取ります。

この欄は、ほとんど三川指導部の田上勇さんに書いてもらっています。つぎの欄もよろしく相談とらうとありますが、意見や知りたことがあれば、どうぞ組合本部の編集部までご連絡をいたしてください。田上さんからさつやく紙上でお答えしてもよろしくお願ひします。



三川新港社宅の一隅。あたりは荒れ放題のなかに、こんな社宅もめずらしくない。これがどうして人間の住む家と思われよう。放置される環境は、何が起きるか恐ろしい。



さし木はいかが？

質問もお願いします

が八月までできます。

今年伸びた、充実した、花芽のない新しい箱を、四枚葉くらいから切り取ります。

そして、三〜四時間ほど水あげをしておいて、砂と、山土の微粉をふるったものを混ぜ合わせ、一番下の葉を切り取り、次の葉の三分の一くらいまでそれにします。

— 編集部